



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>



令和8年5月30日

6月号

横浜市立日野南小学校

地域の魅力を感じた「日野南ラン」

副校長 田内健太郎

5月のある日曜日の朝、日野南公園を出発点に、私は趣味のランニングに出かけました。今回は、地域の様子を感じながら走った約5.5キロのコースをご紹介します。まず公園では、大きく育ったケヤキの木と、植えられて間もない若い木が共に大切に育てられている様子が目に留まりました。地域の方々が変わらずこの場所を大切にしてきたことを感じました。

環状3号を上り、日野南5丁目方面に向かう途中で竹林を発見しました。昨年度の6年生は総合の時間に竹について学習しましたが、こんな近所にも竹林があったことに驚きです。少し走ると野庭表町公園に到着。かわいいタコの遊具が目立っています。子どもたちがタコちゅう公園と呼ぶ場所です。タコちゅう公園という言葉は子どもたちから何度も聞いていましたが、見るのは初めて。魅力的な公園で、子どもたちが元気に遊ぶ姿が目に見えてきました。

そこから下ると調整池、かなりの大きさです。日野川は昔は氾濫することも多かったようで、防災に対する備えや工夫を感じます。

その後、2年生と地域の方とで植えた花の映える原第一公園を通り、鍛冶ヶ谷方面に向かうとサツマイモの苗をくださった金子農園で作業をしている奥さんにお会いしました。以前は日野南も小さな棚田や畑があったのが、開発も進み姿を消す中で、これからも守っていききたいというお話を伺いました。収穫できる野菜は近所の方にも大人気ということです。私もソラマメをいただきました。

タンポポにツツジ、アジサイと季節をまたぐ花を眺めてローラー公園を通過し、鎌倉街道に出て、栄区鍛冶ヶ谷に入ります。本校は栄区にも学区がまたがっています。鍛冶ヶ谷という地名は鎌倉幕府に対し、刀剣を提供する職人たちの集落があったことからつけられたそうです。坂を下ったところでは、鍛冶ヶ谷市民の森に入ります。初めて入りましたが、古墳時代の横穴墓群があります。この地域は鎌倉幕府ができたところからの歴史を感じていましたが、それよりはるか昔からの人々の営みの跡が身近にあることに驚きます。気温は高い日でしたが、森の涼しさもたっぷり感じる事ができました。

山を下ると、やまゆり幼稚園です。壁には素敵な壁画が描かれています。本校でも昨年度壁画に取り組みましたが、壁画がまちの魅力を上げること感じました。

たくさんの地域の魅力を感じ、子どもたちがどう過ごしているかを想像できる5.5キロのランになりましたが、どこから見ても、日野南小学校は坂の上にあります。子どもたちにとっては急な坂を上って頑張って登校していることをあらためて感じます。その坂を上る大変さを想像し、上りきったところにある場所だからこそ、それに応えられる魅力ある学校でありたいと思いました。

また、このランでは、前年度の校外委員さんが作ってくれた日野南小学校学区安全マップを片手に走り、その危険箇所や注意することの大切さを身をもって感じる事ができました。このマップも活用し、交通安全の指導も大切にしていきたいと思いました。

